

事務事業名	市道大羽根尾3号線道路整備事業(企業団地関連道路整備事業)	所属部	建設部	所属課	都市計画課
政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉	所属G	都市計画G	課長名	藤原 昌弘
施策名	〈37〉商工業の振興	担当者名	佐藤 俊之	電話番号	0854-40-1064
目的	商工業事業所(者)	意図	経営の安定・強化を図り、雇用を拡大する。	(内線)	2462
基本事業	〈108〉新たな雇用の場づくり	予算科目	0:140:0:3 1:015:0:7	大事業名	市道道路整備事業
目的	雲南市への進出に意欲のある企業及び市内事業所	意図	市内で事業拠点を新設・増設し、雇用を拡大する。	中事業名	企業団地関連道路整備事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市道及び市道利用者	道路利用者の利便性を高め、住民生活の向上を図る。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返(年度～) ☒ 期間限定複数年度 (R4 年度～ R6 年度)	南加茂企業団地の行き止まり解消のため、部分的に新設及び拡幅(2車線と片側歩道)を行い、市道宇治三代線まで接続する。なお、本路線はスマートICへのアクセス道路としても利用される。【整備延長L=420m、幅員W=9.50m】
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
・道路整備工事(道路土工、ブロック積工、排水構造物工、下層路盤工 外) ・道路整備工事その2(地盤改良工、排水構造物工、下層路盤工、縁石工 外)※R6年度へ工事繰越。	設計時に線形や工法検討によるコスト縮減を図り事業費の抑制に努めた。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 整備率(供用延長)	%	0.0	0.0	0.0	100.0
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)		② コストの推移		単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
【地方債】合併特例債 【現年事業費】 事務費 2,466千円 委託費 3,818千円 工事費 118,719千円 補償費 13,156千円 計 138,159千円	【繰越事業費】 工事費 32,562千円 計 32,562千円	財源内訳	国庫支出金	千円		0	80,095	37,352
			県支出金	千円				
			地方債	千円		1,800	86,000	24,300
			その他	千円				
			一般財源	千円		116	4,626	1,385
		事業費計		千円	0	1,916	170,721	63,037

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	現在、南加茂企業団地のアクセス道路は、国道54号線からの急勾配な市道大羽根尾線だけであるため、当企業団地の防災性及び安全性及び利便性を確保するため本市道を整備している。また、スマートICへのアクセス道路としての活用も見込まれる。
② 事業実施するうえでの課題	目標の達成には整備計画に基づき着実に事業進捗を図る必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	南加茂企業団地の利便性向上及び、スマートICへのアクセス向上のため、早期の完成を求められている。